

# 第90回 獣医学セミナー

## 牛群における 飼料由来マイコトキシン汚染の概要と 繁殖性への影響

高木 光博 先生

(獣医繁殖学)

2023年7月26日 (水) 16:00-17:00

iCOVER1階 101

家畜に給与されている貯蔵飼料中には真菌が常在し、貯蔵環境の変化等により繁殖条件が整えば、増殖した真菌によって産生されたマイコトキシン (MT) が飼料を汚染することが知られている。近年、MT汚染飼料の摂取が疑われる家畜の消化器疾患や繁殖障害等の中毒症状が世界的に報告されている。一方で「食品の安全性」に対する消費者意識の高揚や「動物福祉」などの観点等から、生産現場では環境衛生や飼養衛生を意識した取り組みが必須条件となっており、家畜飼養環境下におけるMT浸潤動態のモニタリングは今後重要になるかもしれない。

本セミナーでは、MT汚染の背景について概説し、これまでに牛群において行ってきたゼアラレノン (エストロジェン類似作用を持つことから家畜に繁殖障害等を引き起こす可能性が示唆されているMT) に関する調査結果の一部を紹介させて頂く予定である。

- ★飲み物・お菓子を用意しています！
- 教員・学生の積極的な参加をお願いします！★
- 連絡先：三宅 (5913)、羽原 (5909)

